

国道417号冠山峠道路(揖斐川町区間)トンネル掘削着工式

揖斐川町と福井県池田町を結ぶ国道417号「冠山峠道路」(揖斐川町区間)トンネル掘削着工式典が10月23日(日)、揖斐川町役場で行われ、国土交通省近畿地方整備局や両県の関係者約250人が出席しました。

今回掘削する揖斐川町側の第1号トンネルは、全長1.2kmで完成は2018年2月の予定です。全線開通は未定ですが、開通すれば、揖斐川町と福井県池田町の区間が約1時間10分の短縮となることから、近隣市町の期待や関心は高まっています。

式典前のセレモニーでは、春日小児童による和太鼓、徳山踊り保存会による「ほっそれ」が披露されました。式典では、北方小の児童と福井県池田小の児童が衛星回線でのテレビ中継を通じて両町の魅力や特産品を紹介し交流を行いました。



▲春日小児童による和太鼓演奏

揖斐川町小津地内高地谷第一砂防堰堤起工式

揖斐川町小津地内で平成17年から整備中の、高地谷第一砂防堰堤本体工事の起工式が、10月27日(木)に行われました。

高地谷第一砂防堰堤は、この周辺地域が活断層の破砕された地質であり、たびたび土砂災害が発生していることから、地域の土砂災害を防止するとともに、揖斐川本川に土砂が流入して発生する、洪水の防止を目的に計画されました。

堰堤本体工は、高さ27m、幅87mで、完成は2020年の予定です。起工式では多数の来賓や工事関係者が出席し、安全祈願祭、定礎式が行われ、工事の無事を祈願しました。



▲定礎式の様子

揖斐川町と揖斐高等学校が連携・協力に関する協定を締結

10月7日(金)、揖斐川町と県立揖斐高等学校の間で連携・協力に関する協定を締結しました。

町と揖斐高校は、これまでもいびがわマラソンボランティアや地域交流センターの青年講座など、さまざまな面で関わってきました。

今回の協定は、町と高校とのつながりをより強化し、これからも続けていくために結ばれました。

今後、町と高校の連携を深め、関係が続いていくことで地域を盛り上げ、地域の将来を担う人材の育成を目指します。



▲調印をする宗宮前町長(左)と鈴木校長(右)

ノルディック・ウォーキング体験会

10月23日(日)、揖斐川健康広場でノルディック・ウォーキング体験会が行われました。

ノルディック・ウォーキングとは、フィンランド発祥の専用ポールを使って、上半身も動かしながら歩くことで、より高い運動効果を得られるウォーキングです。

この日は約50人が参加し、健康広場でインストラクターの指導を受けたあと、実際にポールを持って健康広場周辺の秋の山を歩きました。

参加者は澄んだ秋の空気の中、会話も交えつつ、楽しみながらウォーキングをしました。



▲茶畑の間を乐しげにウォーキング

やまと幼児園で

交通安全教室

10月14日(金)、やまと幼児園で、親子を対象にチャイルドシートとシートベルトの重要性を学ぶための交通安全教室が行われました。

参加者は、シートベルトの重要性についてJAF岐阜支部の講師の説明を聞いた後に、シートベルトを付けた状態で、時速5キロの衝突体験をしました。

体験の後には、シートベルト取付講習もあり、子どもの成長に合ったチャイルドシートを使う大切さなどのアドバイスを受けました。

衝突の怖さを身をもって体験した親子は熱心に話を傾けていました。



▲親子での衝突体験

春日小学校

貝原棚田で稲刈り体験

10月14日(金)、岐阜の棚田21選に認定されている春日美東地区の貝原棚田で、春日小学校の全校児童が稲刈り体験を行いました。

この取り組みは、児童らが自然に触れ、先人の知恵を学ぶ里山体験学習の一環として、毎年行われています。

児童らは、貝原棚田保存会の人に教わりながら、5月に自らの手で植えた苗から実った稲を鎌で丁寧に刈り取る作業を行いました。

12月には、食生活改善連絡協議会春日支部の皆さんとともに収穫したお米をおにぎりにし、棚田保存会の方と一緒にいただきました。

その後、地域の方を講師に「しめ縄づくり」を教わります。



▲汗を流して一生懸命稲刈りを行いました

アトイびがわ2016

10月21日(金)～23日(日)の3日間にかけて、地域交流センター「はなもも」で掛斐川町総合芸術祭「アトイびがわ2016」が、掛斐川町文化協会主催で開催されました。

展示部門は美術、生活文化、文芸の3つの展示で構成され、町内外から絵画・写真・書・盆栽・絵手紙・文芸など多彩な作品約200点が展示されました。

また、小中学生の短歌や俳句も数多く展示され、訪れた人の目を惹きました。

それぞれの部門では優秀な作品が選ばれ、文化協会から表彰を受けました。



▲表彰の様子



▲川をテーマに上演された創作オペレッタ

22日、23日は、創作オペレッタ「水神」が同ホールで上演されました。このオペレッタは、自然と人間の共存をテーマに、町民も作曲・指揮や出演者、またスタッフなどとして参加しました。

今年の春から練習や道具製作を積み重ね、時には厳しい指導を受けながら、良い舞台をつくるため、一丸となって努力しました。

両日の公演も、満席になるほどの人気で、舞台では、心に迫る演技と美しい歌声が響き渡り、来場者から惜しめない拍手が送られていました。

桂茶生産組合が
日本農林漁業振興会会長賞受賞

農事組合法人桂茶生産組合が、平成28年度「第55回農林水産祭 蚕糸・地域特産部門」で、日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産者の技術改善と経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されています。

昨年、岐阜県の推薦を得て、「第68回関西茶品評会」で農林水産大臣賞を受賞した桂茶生産組合は、さらに優良事例として、「第55回農林水産祭 中央審査会(蚕糸・地域特産部門)」で審査され、今回の賞を受賞しました。



▲受賞された農事組合法人桂茶生産組合の皆さん

全国地域安全運動ポスター作品
揖斐川中生5人が表彰を受賞

10月11日(火)、揖斐川中学校で全国地域安全運動に伴う県のポスターコンクールの表彰が行われました。

このコンクールは、県内の小・中・高校生と一般の方を対象に地域安全・暴力追放をテーマに作品を募って開催されました。合計253点の応募の中で優秀作品に選ばれたのは、次の皆さんです。

「子どもと女性の犯罪被害防止」部門

金賞 揖斐川中2年 立川 未悠さん

銀賞 揖斐川中3年 高田 萌々さん

銅賞 揖斐川中3年 石橋 実祐さん

「振り込め詐欺防止」部門

銅賞 揖斐川中2年 宮内 優季さん

佳作 揖斐川中3年 小川菜々子さん



▲受賞された皆さん

谷汲子どもみまわり隊が
揖斐署と協働で防犯グッズを配布



▲グッズを配布しながら防犯を呼びかけるみまわり隊員

10月11日(火)、谷汲小学校で、揖斐署員や谷汲子どもみまわり隊などが全国地域安全運動の期間に合わせて、下校する児童に防犯グッズを配布しました。

谷汲子どもみまわり隊は、集団登校中の児童の列に車が突っ込んだ事件をきっかけとして、子どもを地域で守ろう、という思いから地元の人たちが9月に結成しました。

31人の隊員が、学校や児童が下車するバスの停留所に立ち、子どもが安全に家まで帰ることができるよう、見守り活動を行っています。

いびの秋まつり

10月30日(日)、揖斐川町本町通り一帯で「いびの秋まつり」が開催されました。

いび祭り実行委員会が主催のこのイベントは、軽トラックの荷台で野菜などの販売を行う軽トラ市や消防団による三升樽レースが開催されました。

今年は、揖斐川町にゆかりのある人々を講師に招いたワークショップや8月に台風の被害を受けた茅室町への義援金募金も行われました。

また、揖斐おわらの会によるおわら踊りや食品のバザーなどもあり、訪れた人々を楽しませていました。



▲たくさんの人が見守る中行われたレース